

令和7年度 事業計画書

第6期（令和7年8月1日～令和8年7月31日）

一般財団法人クロノス保全財団

令和7年7月

目次

- 法人の概要
- 令和6年度（第5期）の振り返り
- 令和7年度の基本方針
- 令和7年度の主要事業
- 実施体制

はじめに

当財団は、令和7年度において公益財団法人への移行を目指し、文化財保全を中心とした社会貢献活動を本格的に展開してまいります。この移行は、より一層の公益性を追求し、社会から信頼される組織として成長するための重要な転換点であります。

我が国の歴史的・文化的資産は、自然災害による毀損リスク、経年劣化、維持管理費用の増大、そして専門技術者や後継者の不足といった深刻な課題に直面しています。これらの貴重な文化遺産を次世代へ確実に継承していくことは、現代を生きる私たちに課せられた重要な責務です。

当財団は、この課題に対し、最新のデジタル技術を活用した革新的なアプローチで取り組みます。具体的には、3Dレーザースキャニング技術による精密な形状データの取得、ブロックチェーン技術を用いた改ざん不可能なデジタルアーカイブの構築により、文化財の永続的な保存を実現し、万が一の災害や劣化が生じた場合でも、正確な復元が可能となる基盤を整備してまいります。

また、プロジェクターによる映像投影技術を活用した新しい文化体験の創出により、特に若年層を含む幅広い世代に対して文化財の価値と魅力を発信し、保全への関心を高めることを目指します。伝統文化とデジタル技術の融合により、文化財を「過去の遺産」から「現代に息づく文化資源」へと再定義し、地域活性化にも貢献してまいります。

当財団のすべての事業は、特定の会員や関係者に限定されることなく、広く一般市民が参加できる開かれたものであり、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的としております。

1. 法人の概要

法人名	一般財団法人クロノス保全財団
代表理事	後藤 可奈
所在地	東京都港区
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで

事業目的

自然保護と人と人との繋がりを大切にしつつ、テクノロジーと人との架け橋を目指し、建造物を活用したイベントの開催やブロックチェーン技術を用いた保全活動を行うことにより、社会の健全な発展に寄与することを目的としています。

2. 令和6年度（第5期）の振り返り

令和6年度は、当財団にとって大きな転換期となりました。大阪・関西万博UAEパビリオン事業および浅草神社「Wrapping The Earth」イベントという2つの大型事業を成功裏に実施し、ブロックチェーン技術を活用した文化保全活動「SYO保全」という独自の手法を確立することができました。

主な実績

(1) 大阪・関西万博 UAEパビリオン関連事業（令和7年4月）

「インクと響き ― 異文化が織りなす書のパフォーマンス」を実施。世界的書道家によるパフォーマンスとNFT化・ブロックチェーンアーカイブ化による「SYO保全」の実証を行いました。

(2) 浅草神社「Wrapping The Earth」イベント（令和7年7月）

浅草神社にて2日間にわたり開催。地域開放の縁日や境内への映像投影演出を行い、多くの来場者を集めました。SNSを通じた情報発信により、若年層への訴求効果も確認されました。

3. 令和7年度の基本方針

令和7年度は、公益財団法人への移行を見据え、より公益性の高い事業展開を図ります。以下の2つの事業領域を柱として、持続可能な文化財保全活動を推進します。

【事業の柱1】歴史的建造物保全事業

世界遺産や国宝・重要文化財を対象としたデジタルアーカイブ構築を加速させます。3Dスキャニングとブロックチェーン技術の活用により、災害対策としてのデータ保存を推進するとともに、そのデータを活用した映像演出や展示を通じて、文化財の価値を広く社会に発信します。

【事業の柱2】文化教育・普及事業

デジタルアーカイブ化された文化財データを活用し、教育機関や地域社会と連携した普及活動を展開します。次世代を担う子どもたちへの教育プログラムや、地域住民向けの体験事業を通じて、文化財保全の意義を伝え、地域の文化資源への誇りを醸成します。

4. 令和7年度の主要事業

■ 歴史的建造物保全事業

【事業1】三井寺「Wrapping The Earth」プロジェクト

実施時期: 令和7年10月17日（金）～11月3日（月・祝）18日間

実施場所: 三井寺（園城寺）境内（滋賀県大津市）

予算: 1,200万円

事業内容

(1) 国宝・重要文化財のデジタルアーカイブ構築

3Dレーザースキャニング技術により、金堂、五重塔、仁王門などを精密に計測。ブロックチェーン技術で永続的に保存します。

(2) 夜間映像演出イベント（期間中の週末開催）

歴史的建造物に映像を投影し、天台寺門宗の歴史を表現。

開催日程：

- ・10月17日（金）開幕式
- ・10月18日（土）、19日（日）
- ・10月25日（土）、26日（日）
- ・11月1日（土）、2日（日）、3日（月・祝）

各日300～500名、期間合計8,000名の来場を見込みます。

公益性確保の取組

当財団は、歴史的建造物（三井寺）を舞台にした体験型デジタルアートイベントを自主企画として実施し、会場・開催日程・開催時間・主催共催等の情報をWeb上で公表します。参加者は当日受付にて入場料（＝拝観料）のみを負担し、公演（演出）自体は無料として不特定多数に体験機会を提供します。公式ページおよびニュース記事をWeb公表証跡（PDF化）として添付します。

予算内訳

項目	金額（万円）
3Dスキャニング・デジタルアーカイブ	400
映像制作・投影システム・運営	600
広報・安全管理	200
合計	1,200

期待される効果

- 来場者数: 8,000名
- 推定経済効果: 5,000万円以上
- 文化財保全意識の向上
- 地域への貢献と観光振興

【事業2】根津神社×東京大学150周年記念プロジェクト

実施時期: 令和8年5月22日（土）～23日（日）2日間

実施場所: 根津神社（東京都文京区・重要文化財）

協力: 東京大学

予算: 600万円

事業内容

(1) 重要文化財のデジタルアーカイブ構築

本殿・唐門・透塀などを3Dスキャニング。東京大学研究者による学術的分析。ブロックチェーン技術で永続保存。

(2) 夜間映像演出イベント（2夜連続）

根津神社の歴史と東京大学150年の歩みを融合させた映像演出。各夜500名、合計1,000名の来場を見込む。

(3) 産学連携プログラム

- 東京大学研究者によるトークセッション（2回）
- 学生参加型パフォーマンス
- ブロックチェーン技術実証展示
- 文化財デジタル保存ワークショップ

期待される効果

- 来場者数: 2,500名
- 産学連携モデルの構築
- 若年層（大学生）への文化継承意識の醸成
- 学術論文発表による社会的認知度向上

【事業3】文化財デジタルアーカイブ構築事業（通年）

実施期間: 令和7年8月～令和8年7月 **予算:** 300万円

全国の歴史的建造物5～8件を3Dレーザースキャニングにより計測し、ブロックチェーン技術で保存。教育機関・研究機関へデータを提供し、災害時の復元や学術研究に貢献します。

■ 文化教育・普及事業

【事業4】水間鉄道「Wrapping The Earth」プロジェクト

実施時期: 令和7年12月24日（水・クリスマスイブ）

実施場所: 水間鉄道沿線・水間観音（大阪府貝塚市）

協力: 水間鉄道株式会社、水間観音、貝塚市

当財団の役割: 企画コーディネート

予算: 250万円

事業コンセプト

当財団は企画コーディネーターとして、大阪府貝塚市の水間鉄道を舞台とした地域の文化資源と最新デジタル技術を融合させた体験型アート観光コンテンツの企画・調整を行います。水間鉄道株式会社、水間観音、貝塚市との連携のもと、世代を超えて参加できる新しい体験価値を提供し、地域資源の再評価を目指します。

事業内容

(1) プロジェクションマッピング体験

- 書道アーティスト吉川壽一氏（毎日書道展グランプリ受賞）による書の演出
- 車両へのライトアップ演出
- 昭和復刻クリスマスイベントとして昭和の鉄道風景を再現
- 参加者が生成したAI映像を車両に投影できる参加型デジタルアート体験
- 体験後は生成映像を本人にデジタル配信

(2) 月1回定期上映プログラム

初回イベント後、参加予約制で月1回の定期上映を実施。来場者が自作映像を投影できる仕組みを整備。

(3) 交流施設でのギャラリー

- 水間寺から徒歩1～2分の参道沿い施設を活用
- AIアートとヒーリングを融合した「瞑想と光のギャラリー」
- ヨモギや香などの和素材を活かした五感型ヒーリング演出
- AIで生成した映像アーカイブを常時投影
- 参拝から休憩、鑑賞、瞑想までを自然につなぐ体験動線

予算内訳

項目	金額（万円）
映像制作・AI映像生成システム	80
プロジェクションマッピング機材・設営	70
特別列車運行費・鉄道協力金	40
桜のテラス会場費・ヒーリング演出	30

書道アート制作費・吉川氏出演料	20
広報・運営費	10
合計	250

期待される効果

- 来場者数: 2,000名（地域住民800名、鉄道ファン500名、観光客700名）
- 地方鉄道の活性化支援
- 夜間経済の創出
- 若年層誘客と消費拡大
- SNS発信による情報拡散（推定リーチ数: 5万人以上）
- 月1回定期開催による持続可能な観光モデル構築

【事業5】教育普及プログラム（通年）

実施期間: 令和7年8月～令和8年7月 予算: 200万円

事業内容

- 学校連携プログラム: 小中高校への出張授業（年間8～12回）
- オンライン教材開発: デジタルアーカイブを活用した教材制作（年間3～5本）
- 教員向け研修: 文化財教育に関する教員研修会の開催（年1～2回）
- ワークショップ開催: 子ども向け文化財体験ワークショップ（年2～3回）

期待される効果

- 参加者数: 年間350名（出張授業250名、ワークショップ100名）
- 次世代への文化継承意識の醸成
- 教育機関との継続的な連携体制構築

【事業6】地域文化体験事業（通年）

実施期間: 令和7年8月～令和8年7月 予算: 150万円

事業内容

- 映像演出イベント: 地域住民向け無料または低廉な料金での開催（年4～6回）

- **文化財解説ツアー:** 専門家同行による地域文化財巡り（年3～4回）
- **文化体験ワークショップ:** 親子参加型の文化体験プログラム（年2～3回）

期待される効果

- 参加者数: 年間300名
- 地域の文化意識向上
- 文化財を核としたコミュニティ形成

■ その他の事業

【事業7】 広報・調査研究事業（通年）

実施期間: 令和7年8月～令和8年7月 **予算:** 150万円

事業内容

当財団では、文化財保全・デジタルアーカイブの先進事例に関する調査・資料収集を実施するため、以下の取組を行います。

(1) 調査・資料収集 実施計画

- 国内外の視察・調査：年2～3回実施
- 専門家ネットワークによる情報交換会：年3回開催
- 調査研究報告書の作成・無料公開：年1回

(2) 広報活動

- 広報誌発行（年2回）
- Webサイト・SNS運営（週2回以上の情報発信）
- 調査研究成果の無料公開とデータベース化

5. 実施体制

組織体制

評議員（7名）

- 磯谷 勢
- 角井 夏宜
- 藤田 由美子
- 藤田 明日香
- 那須 大亮
- 澤井 宏貴
- 金子 悠希

理事（4名）

- 後藤 可奈（代表理事）
- 藤本 昌信
- 石川 明
- 原田 祐介

監事（1名）

- 寺内 英之

理事会・評議員会の開催予定

時期	会議名	主な議案
令和7年8月下旬	第1回理事会	前期（第5期）事業報告・決算承認

令和7年9月中旬	第1回評議員会	前期決算承認、新役員体制確認
令和7年10月上旬	第2回理事会	三井寺プロジェクト直前確認
令和7年12月中旬	第3回理事会	水間鉄道プロジェクト実施報告
令和8年3月中旬	第4回理事会	次期（第7期）事業計画・予算案の策定
令和8年5月上旬	第2回評議員会	次期事業計画・予算承認
令和8年6月下旬	第5回理事会	公益定期報告に向けた準備状況確認

以上

令和7年7月

一般財団法人クロノス保全財団

代表理事 後藤 可奈